

サプライチェーン強靱化WG（要旨）

2022年12月22日

東北半導体・エレクトロニクスデザイン研究会事務局

<活動内容>

○第1回WG（令和4年10月7日（金）13:00-15:00）

場所：東北経済産業局にてハイブリッド開催

内容：議事

- （1）WGの取組方針について
- （2）調査事項及びアンケート内容（案）について
- （3）優先課題について
 - ・地域における部材調達の促進
 - ・地域における設備パフォーマンス維持に向けた対策

○第2回WG（令和4年12月5日（月）13:00-15:30）

場所：オンライン（Teams）

内容：議事

- （1）製造・調達等に関する現状・課題（調査結果）について
- （2）調査結果を踏まえた対策検討方針（案）について
- （3）地域における設備パフォーマンス維持に向けた対策について

●構成メンバー 18社・機関

キオクシア岩手、ジャパンセミコンダクター岩手事業所、デンソー岩手、東京エレクトロン宮城、アルプスアルパイン、OMT、日本ファインセラミックス、エイブリック、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング山形テクノロジーセンター、東北エプソン、山形サンケン、国見メディアデバイス、アルス、福島サンケン、デジタルネットワーク、日鉄ステンレス鋼管、東北大学、JEITA

アンケート結果を踏まえた対策案について ①

- 製造・調達等の課題として、「人材育成・確保」、「サプライチェーンの強化」、「設備投資・老朽化」、「部材等の高騰・不足」といった内容が多く挙げられたところ。
- 具体的な対策案は次のとおり。

【人材育成・確保】

- 引き続き、人材育成・確保の取組案を人材WGで検討。

【サプライチェーン（SC）の強化】

- 具体的な地域内調達ニーズについて、個別マッチング(事務局及び各地の産業支援機関経由を進める。＜令和4年度から実施予定＞
- ポテンシャル(集積状況)調査(※)を行い、東北に立地する半導体関連企業をマップ形式で見える化。＜令和4年度から実施予定＞
※調査対象は、アンケートで記載のあったサプライヤー企業等へ範囲を拡大する。
- マッチング会の開催を視野に、より効率的なマッチング方法を引き続き検討。＜令和5年度から実施予定＞

【設備投資・老朽化】

- 設備パフォーマンス維持に向けた対策を検討。＜令和4年度から実施予定＞

＜アンケートによる対策案＞

- ①半導体メーカーとメンテナンス事業者間のネットワーク形成、マッチングサイト（半導体メーカー＆メンテ企業）の構築 /
- ②中古部品等のストックデータベース共有システムの構築 / ③EOL品の再設計

【部材等の高騰・不足】

- 令和4年度第2次補正予算（総合経済対策）等での対応。

【その他】

- 連携促進を目的とした企業視察の意向を踏まえ、人材育成・確保やSC強化に係る取組の中で実施を検討。＜令和5年度から実施予定＞
- 技術開発や共同研究への意向を踏まえ、個別の案件組成や効率的なマッチング方法の検討を行う。＜令和4年度から実施予定＞

経済産業省関係令和4年度第2次補正予算（半導体関連抜粋）

< 価格高騰対策 >

●電気・ガス価格激変緩和対策事業【3兆1,074億円】

・小売事業者を通じた激変緩和措置により、家庭や価格転嫁の困難な企業における電気・都市ガス料金の負担の軽減。

< 研究開発 >

●ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業【4,850億円】

・日米をはじめとする国際連携での次世代半導体の製造技術開発等や、様々な計算需要を支える次世代計算基盤の実現に向けた、ハード/ソフトの技術開発を支援

< 設備投資 >

●先端半導体の国内生産拠点の確保事業【4,500億円】

・先端半導体の国内生産拠点を整備するとともに、その拠点での継続生産や、投資・研究開発等を進めることで、安定供給確保を実現（改正5G法関連）

●中小企業等事業再構築促進事業（「サプライチェーン強靱化枠」）【5,800億円の内数】

・海外で製造する部品等の国内回帰を進め、国内サプライチェーンの強靱化及び地域産業の活性化に資する取組を行う事業者を支援

●省エネルギー設備への更新を促進するための補助金【500億円】

・省エネ性能の高い設備への更新に係る費用を補助

●半導体サプライチェーンの強靱化支援【2,163億円】※

・半導体やその関連部素材について、生産能力強化等を支援

●電力性能向上によりGXを実現する半導体サプライチェーンの強靱化支援【1,523億円】※

・エネルギー効率の改善に資する半導体やその関連部素材について、生産能力強化等の支援

サプライチェーン強靱化WG 詳細スケジュール（予定）

